

本市の中学校夜間学級の再編について

本市の中学校夜間学級の取組

- 昭和44(1969)年、天王寺中学校に夜間学級を開設、以降、文の里中学校(昭和48(1973)年)、天満中学校(平成7(1995)年)、東生野中学校(平成9(1997)年)に夜間学級を開設し、政令指定都市として最大の4校の夜間学級において、教育活動の充実に取り組む

既設夜間中学一覧(令和5年4月時点)

夜間中学の設置・検討状況②

都道府県	設置主体	学校名	都道府県	設置主体	学校名
北海道	札幌市	星友館(せいゆうかん)中学校	大阪府	大阪市	文(ふみ)の里(さと)中学校
宮城県	仙台市	雨小泉(みなみこいずみ)中学校[令和5年4月開校]	堺市	東生野(ひがしいの)中学校	
茨城県	常総市	水海道(みづかどう)中学校	堺市	殿島塚(とのぼたば)中学校	
埼玉県	川口市	芝西(しばにし)中学校隣舎(ようしゅん)分校	岸和田市	岸城(きしぎ)中学校	
千葉県	千葉市	真砂(まさご)中学校かがやき分校[令和5年4月開校]	豊中市	第四(だいよん)中学校	
	市川市	大淵(おおす)中学校	守口市	さつき学園	
	松戸市	第一(だいいち)中学校みらい分校	八尾市	八尾(やお)中学校	
東京都	墨田区	文花(ぶんか)中学校	東大阪市	布施(ふせ)中学校	
	大田区	籠谷(こりや)中学校		藤原(ふじわら)中学校	
	世田谷区	三宿(みしゆく)中学校	神戸市	丸山(まるやま)中学校西野(にし)の分校	
	荒川区	第九(だいきゅう)中学校		兵庫(ひょうご)中学校北分校	
	足立区	第四(だいよん)中学校	姫路市	あかつき中学校[令和5年4月開校]	
	葛飾区	双葉(ふたば)中学校	姫路市	成貞(せいじょう)中学校琴城(きんじょう)分校	
	江戸川区	小松川(こまつがわ)中学校	奈良市	春日(かすが)中学校	
	八王子市	第五(だいつ)中学校	天理市	北(きた)中学校	
神奈川県	横浜市の	岡田(おかだ)中学校	播磨市	歌野(うたの)中学校	
	川崎市	西中原(にしなはら)中学校		藍青(あいな)中学校	
	相模原市	大野南(おのみなみ)中学校分校	広島市	二葉(ふたば)中学校	
静岡県	静岡市	静岡立(しずく)に中学校[令和5年4月開校]	徳島県	徳島立(とくしま)しらすぎ中学校	
京都府	京都市	洛友(らくゆう)中学校	香川県	三豊市	高瀬(たかせ)中学校
大阪府	大阪市	天王寺(てんのいし)中学校	高知県	高知市	高知立(こうち)高知国際(こうちこくさい)中学校
		天満(てんま)中学校	福岡県	福岡市	福岡(ふくおか)きぼう中学校

本市の中学校夜間学級の現状

- 開設当時にニーズがあった戦後の混乱期の中で様々な事情により義務教育未修了のまま学齢を超過した生徒を中心に生徒数が大幅に減少
- 不登校など様々な事情から実質的に十分な教育を受けられなかった方や本国において義務教育を修了していない外国籍の方の入学が増加
- 教科学習の基礎としての日本語指導が必要な外国籍の生徒が、義務教育を受ける機会を求め天満中や天王寺中に増加
- 平成28年12月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」が公布され、多様なニーズへの対応が必要

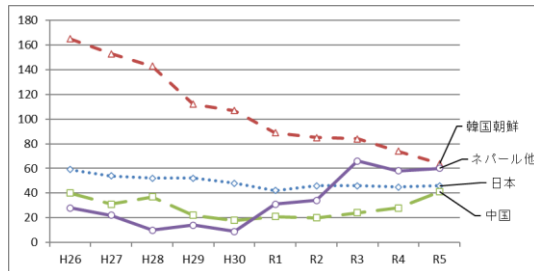
本市の中学校夜間学級の再編

文の里中学校
天王寺中学校
夜間学級を
統合・移転

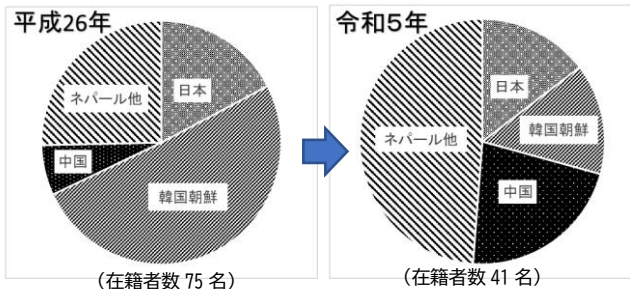
課題

- 文の里中学校夜間学級における大幅な生徒数の減少(平成11年度175名→令和5年度24名)
- 天王寺中学校夜間学級における教科学習の基礎としての日本語指導が必要な外国籍生徒の増加
- 天王寺中学校夜間学級の校舎の老朽化
- 天王寺中学校昼間部の生徒増に伴う将来的な校舎増設の必要性

国籍別在籍者数(4校合計)



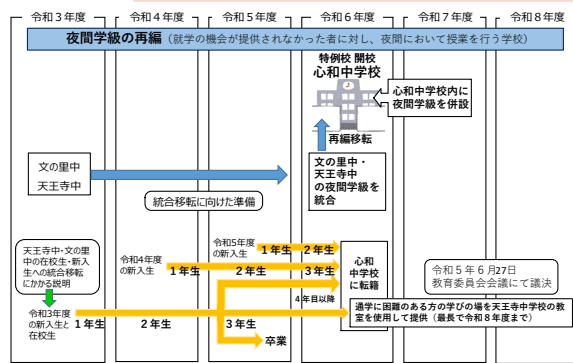
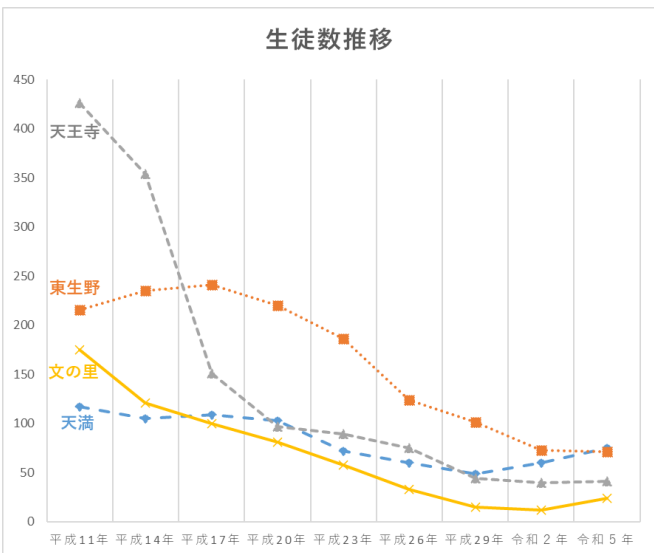
国籍別在籍者数(天王寺中)



【令和6年4月】
学びの多様な学校
心和中学校に
併設

- 教科学習の基礎としての日本語指導の充実
- 不登校経験者等が通しやすい環境の整備
- 多様な生徒のニーズに対応するための教育活動の充実
- 昼間部の生徒との交流授業による学びの相乗効果
- スクールカウンセラーを活用した心のケアも可能
- エレベーター等施設面の整備

生徒数推移



再編に対する存続を求める声

- 自分たちの学びの場である学校をなくさないで欲しい
- 通学距離が遠くなるので、高齢者にはつらい
- 天王寺中学校は交通の便もよいのに、なぜなくすのか
- 校舎の老朽化というのなら、単純に夜間学級の校舎を建替えられないのか
- 生徒数が減少しているというが、教育委員会が増やそうと努力していない
- 天王寺中学校の夜間学級は、なくてはならない大阪のシンボルである

具体的な方策

- 現天王寺中学校夜間学級教室を活用した学びの場を提供(最長令和8年度まで)
- 心和中学校の教員を派遣し、週5日3時間の授業を実施
- 通学が困難な生徒に対するオンラインでの学びの提供
- 本市における夜間学級のあり方の検討
- 今後の夜間学級に対するニーズ調査の結果や入学希望者の増加など新たな状況が生じた場合は、市全域の状況を踏まえ、必要に応じて増設等の対策を検討